

18校154人が熱闘“釣児の甲子園”

「バリバスカップ2024 U-18選手権東京湾マアジ釣り大会」が23日に開催され、18校154人（37チーム）が参加した。

「バリバスカップ2024 U-18選手権東京湾マアジ釣り大会」

優勝した逗子開成高校。優勝した選手は、山口一（15）、進藤誠一（16）、永広優人（16）、安友彩人（15）、小峰脩介（15）を乗せた中山丸は、根岸沖に移動。後半に食いが立つようになったが、釣れてくるのは全て20秒前後。5匹の重量で競う大会で抜き返るのは難しい。そんな中、最終盤に「低めのタナを攻めた」と話す山口さんが掛けたのは、これまでより一回り太めのマアジ。この1匹が勝負を決めた。

VARIVAS

果、810gで逗子開成高校（神奈川県逗子市）が頂点に輝いた。

（久世 明子）

貸し竿に苦戦も

東京湾を切り開け、中高生の釣り甲子園。出場者は深川・吉野屋・葛西橋・第二泉水・南六郷・ミナミ、東大井・いわた、川崎・中山丸の計7隻に分乗し、それぞれのポイントを目指した。

当日は濁りがきつい海況で、マアジの食いはいまひとつ。さらに慣れない貸し竿に四苦八苦する生徒が続出し、前半は1匹を釣るのもやっとだった。5人のうち3人は昨年、他校との合同チームで出場し3位入賞。今回は山口さんが釣りに仲間2人に声をかけ「仲良しチーム」を結成した。全員が幼いころに釣りを経験しているベテランぞろい。それでも「まさか優勝できるとは思っていなかった。うれしい」と満面の笑み。歴代優勝校の名前入り優勝旗を手にし、初の連覇は？の問いには「いや」と言いながらも、まんざらでもなさそうだった。

V 810g 成開 逗子 功奏め攻タのめ低



功奏め攻タのめ低

「バリバスカップ2024 U-18選手権東京湾マアジ釣り大会」で優勝し喜ぶ逗子開成高校のメンバー

「一連の動作マスター」数伸ばした

▼APCの目 「釣り甲子園」は回を重ねて今年6回目。参加者の中には2年連続出場の中にも、2年連続出場の顔も。LT（ライトタックル）でのマアジは、コツさえつかめば簡単だが大半が貸し竿。思うようには掛かってこない。コマセを詰めたビシを海底に

参加校 保善、東京実、城北埼玉中・高、芝中・高、日大二中・高、大島海洋国際、北豊島工科、城北中高、東海大浦安中・高、日大一中・高、明星中・高、国府津中、田奈中、慶応志木、横浜商大高、立教池袋中・高、逗子開成、立花学園（順不同）

明日のこよみ

7月30日（火）長潮
旧暦6月25日 潮は晴海
満潮 14:24 干潮 17:43
東京 日中 14:47 日中 14:31
月齢 24.2
週回り 日中 14:47 日中 14:31

慶応志木高校2年の林健翔さんはマアジのダブルに笑顔（東大井・いわた）



参加校 保善、東京実、城北埼玉中・高、芝中・高、日大二中・高、大島海洋国際、北豊島工科、城北中高、東海大浦安中・高、日大一中・高、明星中・高、国府津中、田奈中、慶応志木、横浜商大高、立教池袋中・高、逗子開成、立花学園（順不同）